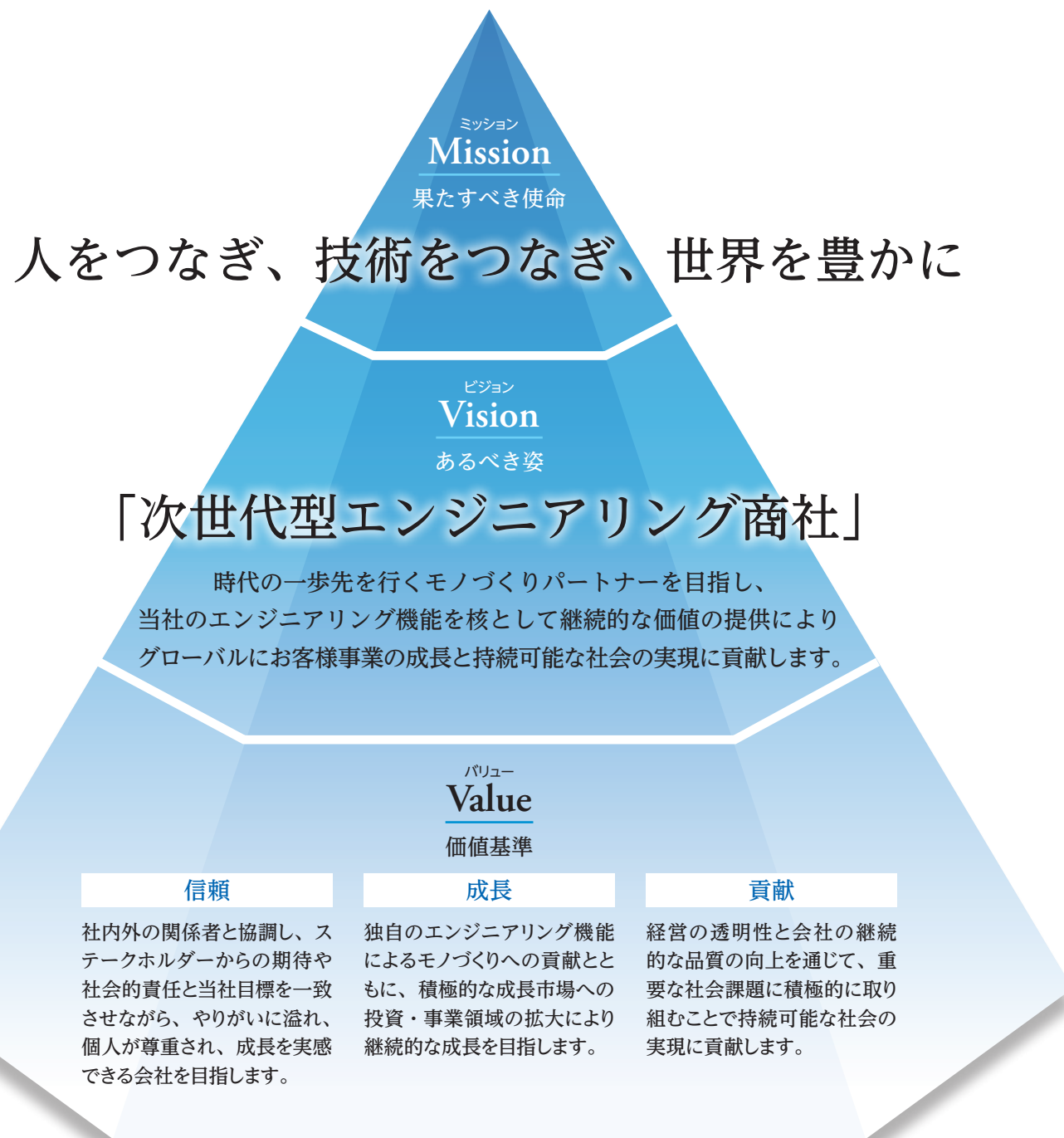


Corporate Profile

世界のモノづくりに、創造の翼を。

経営理念

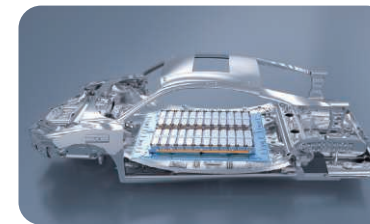


多彩なニーズに応える 7つの事業



プラント・エネルギー事業

プラント分野における各種設備や高度な技術を提供しています。また、エネルギー分野においては再生可能エネルギーを中心に、脱炭素社会に向けた関連商材を提供しています。



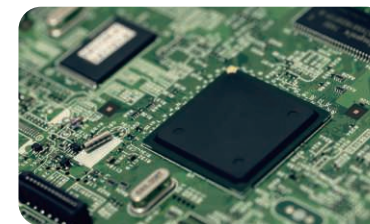
エナジーソリューションズ事業

二次電池の主力であるリチウムイオン・バッテリー（LIB）製造設備を中心に、次世代電池（全固体電池）、燃料電池、ペロブスカイト太陽光発電、リサイクル技術等のソリューションを提供し、脱炭素社会の実現を推進しています。



産業機械事業

家電、住宅設備、食品包装、医療、二輪、建設機械などの幅広い分野において、主に樹脂加工成形機（押出・真空・射出）、自動組立機や、表面処理に関わる生産設備、原材料等を提供しています。



エレクトロニクス事業

各種電子機器および半導体デバイス関連の製造分野において、主に電子部品実装ラインや半導体組立装置、周辺機器等の各種設備およびシステムを提供しています。また近年製造工程・物流工程で加速する自動化ニーズに対し、各種自動化設備および自動化システムに注力しています。



自動車事業

市場が拡大する自動車の電動化・自動運転を見据え軽量化・電動パワートレイン・センシング等主要部品の製造工程に注力して成形設備、加工機、組立・検査設備等を提供しています。近年ではCO₂削減を目的とした新工法の開発や各国のグローバル装置メーカーとの連携を強化しております。



ヘルスケア事業

ヘルスケア分野において、錠剤外観検査機や包装機などの生産設備販売から生産ラインのエンジニアリング、商品開発等を行っています。



航空・インフラ事業

航空・空港分野において、主に航空機地上支援機材や各種関連機器を提供しているほか、防災分野において、主に特殊車両や各種関連機器を提供しています。

進化する産業機械サプライヤー

当社は戦後復興の中で創業し、機械の売買に徹して投機性のない商売を地道に続け、堅実な企業として信頼を得ながら成長を遂げてきました。国内の基幹産業を支えたことは産業機械のサプライヤーとしての基盤となり、近年、事業領域は多様な業界に広がっています。そして、今後の果たすべき役割は「モノ売り」の商社という枠を越えた領域。「モノ×コト」売りを具現化する「次世代型エンジニアリング商社」に向けて進化を続けています。



1952年
石油・石油精製、
製紙業界を開拓



1959年
プラスチック業界



1964年
自動車業界



1979年
医薬業界



1982年
エレクトロニクス業界



1989年
航空業界



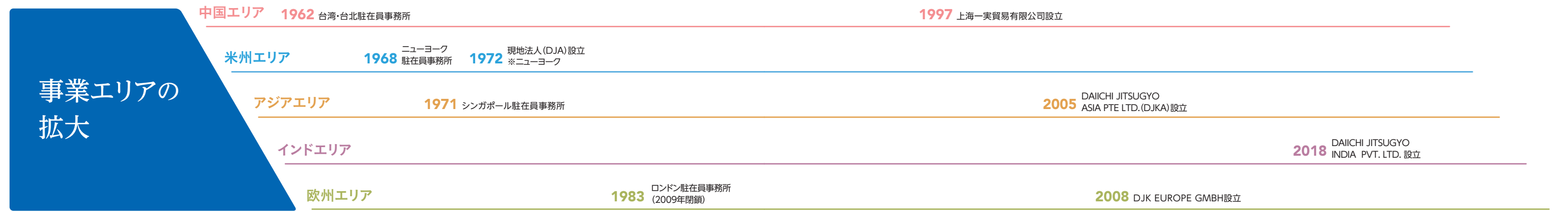
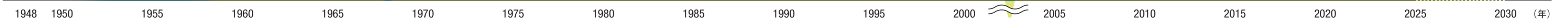
2006年
二次電池分野への参入

■ 連結売上高
■ 当期純利益
(親会社株主に帰属する当期純利益)

1948年～1965年は
12月期決算

1966年は15カ月決算
(決算期を3月に変更)

1999年以降は
連結業績



事業エリアの拡大

第一実業のキーワード

産業機械サプライヤーとしての
長年の実績

SINCE 1948 創立 **78** 年

持続的な成長と信頼 (2025年3月期末実績)



成長を支える資本

当社の成長を支える資本は創業以来積み上げてきた当社の強みそのものです。これらの資本を強化し、長期ビジョンの実現を目指します。

人的・知的資本

- 成長戦略を支える多様な人材 (2025年9月30日現在)

従業員数	連結 1,559 名
海外従業員数	554 名
技術職	連結 464 名 <small>(2025年3月31日現在)</small>

社会関係資本

- 長年培ってきた信頼
- 強固なパートナーシップ (2025年9月30日現在)

得意先	約 3,900 社
仕入先	約 4,700 社

組織資本

- 豊富なネットワーク
- 製造・サービス子会社
- エンジニアリング機能を強化するための専門組織

海外拠点数 <small>(2025年12月30日現在)</small>	18カ国 36 拠点
製造子会社	2 社
サービス子会社	2 社

財務資本

- 安定した財務基盤 (2025年3月31日現在)

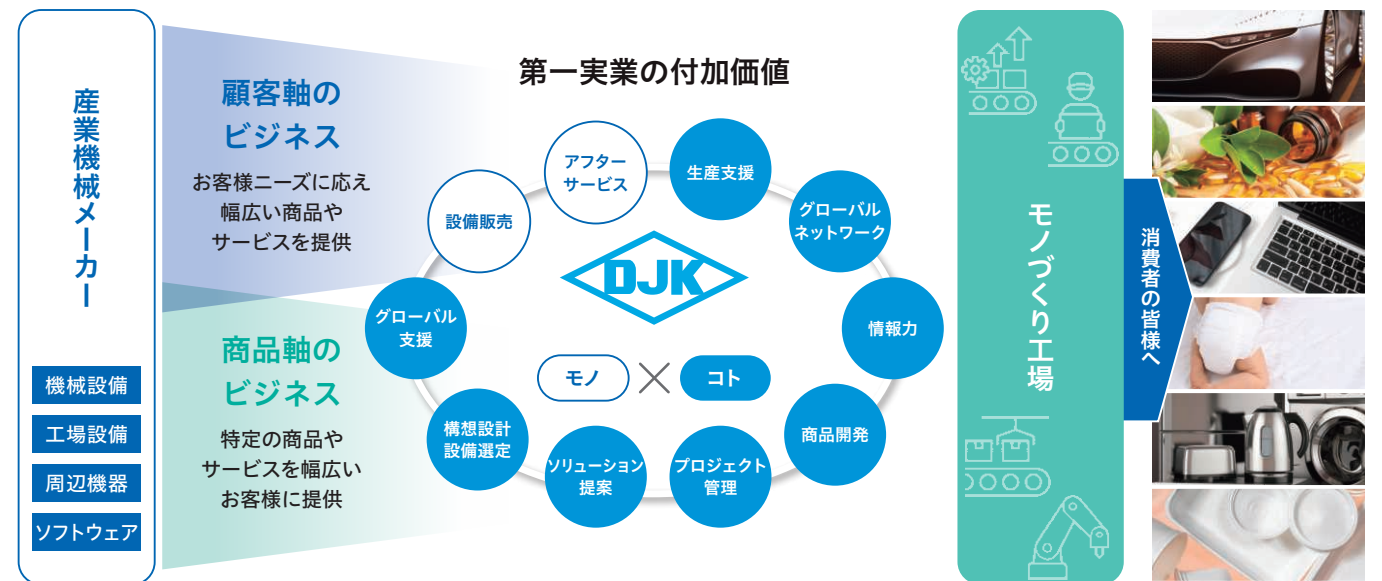
総資産	1,714 億円
自己資本	797 億円
自己資本比率	46.5 %

独立系総合機械商社

私たちは、メーカーとユーザーを技術力と提案力でつなぎ
世界を豊かにする次世代型エンジニアリング商社です。

ビジネスモデル

サプライヤーである「産業機械メーカー」とユーザーである「モノづくり企業」をつなぐ総合機械専門商社として、産業機械を売るだけでなく、エンジニアリングを通じて社会と経済の発展に貢献しています。



強み

創業以来78年間積み上げてきた4つの強みを生かし、グローバルに次世代型エンジニアリング商社として活躍しています。

現場力

モノづくり現場に精通した営業が最適設備を提案



エンジニアリング

多様な知見と経験で複合的なエンジニアリング機能を提供



グローバルネットワーク

18カ国36拠点の海外ネットワークでお客様をサポート



ロジスティクス

物流専門部署による国際物流の効率化と高度なリスク管理



次世代型エンジニアリング商社

グローバルネットワーク

当社は、米州・欧州・中国・アジアに加え、インドの5軸体制とし、日本および世界18ヵ国36拠点と海外拠点を拡充させています。世界で成長し続ける企業になるために、グローバル戦略をさらに進化させていきます。

海外拠点 **36** 拠点

営業サービス拠点
 ● 欧州エリア ● アジアエリア ● 中国エリア ● 米州エリア ● インドエリア
 ★ テクニカルセンター

欧州エリア 4 拠点

● フランクフルト ● プラハ ● ブダペスト ● ソフィア

中国エリア 8 拠点

● 上海 ● 天津 ● 蘇州 ● 武漢 ● 広州
 ● 深圳 ● 香港 ● 台北

アジアエリア 11 拠点

● シンガポール ● クアラルンプール ● ジョホールバル ● ペナン ● バンコク
 ● ジャカルタ ● ハノイ ● ホーチミン ● マニラ ● ラグナ ● ソウル

テクニカルセンター ★ バンコク ★ ハノイ ★ ラグナ ★ ソウル

インドエリア 3 拠点

● ニューデリー ● バンガロール ● アーメダバード

テクニカルセンター ★ ニューデリー

日本 7 国内拠点

● 大阪 ● 名古屋 ● 仙台
 ● 広島 ● 福岡 ● 富山

テクニカルセンター

★ 川口

第一実業
本社

米州エリア 10 拠点

● シカゴ ● ヒューストン ● オースティン ● ノックスビル ● ケンタッキー
 ● ケレタロ ● モンテレイ ● レオン ● サンパウロ ● トロント

(2025年12月現在)

ごあいさつ

代表取締役 会長執行役員 CEO 宇野 一郎



当社は、産業機械を取り扱う商事会社として、1948年の創立以来、モノづくり企業を支援する事業を行ってまいりました。80年近い歩みの中で当社は、創立当時から受け継ぐ開発精神を持って、常に「モノづくりの現場に提供すべき価値は何か」を追求し、ビジネスの開発・創造に努めてきました。そして、機械販売から始まった事業は、多様化するニーズに応え、ソリューション提案、

新工場立ち上げ支援、プロジェクト管理などへと広がり、当社の「モノ(産業機械)×コト(サービス)売り」はすでに多くの実績を上げ、お客様からのご支持を頂いております。

このソリューションやエンジニアリングを含めた独自のビジネスモデルをさらに進化させ、他社にはまねのできないような技術サービスを付加したエンジニアリングを提供し、お客様のグローバルな成長に貢献していく。それが、私たちの使命であると考えています。

当社は会長(CEO)・社長(COO)制を敷き、経営の強化を図っています。経営陣一同、力を合わせ、お客様に提供する価値のさらなる向上に全力を尽くしてまいります。

宇野 一郎

代表取締役 社長執行役員 COO 船渡 雄司

今、モノづくりの現場はグローバルにつながり、オペレーションは加速度的に複雑化しています。さらに、AIやIoTなど先端技術を取り入れることで、モノづくりの高度化・専門化の流れも強まっています。

こうした状況の中で、私たち総合機械商社が果たすべき役割は重要性を増しており、専門性を高め、お客様の課題解決に貢献していかなければならないと考えています。特に、当社が強みとする「独自のエンジニアリング機能」の向上に一層注力し、お客様のご期待・ご要望に応じてまいります。投資も果敢に実行し、グループとしての能力を高め、より効率的・包括的な生産現場のサポートができる体制を構築してまいります。

当社は、「人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに」を経営理念に掲げ、世界のモノづくりの現場に寄り添うビジネスを展開する企業です。新しい時代を担う総合



機械商社としての価値創造に努め、ステークホルダーの皆様とともに成長していくことを目指してまいります。

船渡 雄司

創業期の理念

創業の精神

第一実業株式会社は、商事会社として経済社会の流通機構の一翼を担い、以て社会の繁栄に寄与することを目的として協力一致して積極的に活動し、堅実に運営して企業を安定成長せしめ、此処に働く人々の生活の向上幸福の増進を図る。

協
力
一
致
堅
実
運
営
積
極
活
動

社是三原則

BUSINESS SEGMENTS

事業概要

プラント・エネルギー事業

豊富な知見と新たな視点で基幹産業を支える

プラント分野においては長年にわたる豊富な経験により各種プラントや装置とともに高度な専門性を生かした技術を提供しています。エネルギー分野においては、バイナリー発電、太陽光発電およびCCS/CCUS関連装置、水素/アンモニアといった次世代燃料への取り組みを推進しています。また、脱炭素社会の実現に向けたFS・FEED支援サービスや各種ソリューション提案や関連商材の開発にも注力しています。



事業分野



資源開発

探鉱調査からエネルギー開発までのプロセスにおいて、石油、天然ガス、地熱などの地下資源開発を支える機器、サービスを提供しています。



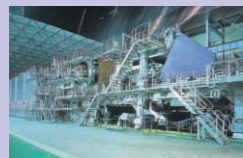
石油・石油化学

石油・石油化学は日々の暮らしに欠かせない業界の一つであり、創業時より深く関わっている分野です。安定操業が求められる石油精製・石油化学工場向けにユーティリティ機器・プロセス機器の販売を中心に、メンテナンス効率化の提案や法令対応サポートなどにも注力しています。



化学

情報通信に不可欠な媒体やケーブル、生活用品、衛生用品、食料品、医薬品、自動車部材、各種フィルム製品などに使われる、原料から機能化学製品を生産するための各種製造設備や環境対策設備を取り扱っています。最近では独自のエンジニアリング力を生かしお客様のプロジェクト推進のサポートサービスやデジタル技術を用いた新素材の研究開発促進ソリューションを提供しています。



素材

主に製紙業界向けにパルプ製造用設備をはじめ、仕上設備や環境負荷を低減する機器を、これまで培ったノウハウをもとに提供しています。また製鉄業界向けに製造・環境設備や最新鋭の設備監視装置などを提供しています。



脱炭素・再生可能エネルギー

地熱、バイオマス、太陽光のほか、水素、アンモニア製造、CCS、バイオマス燃料など、さまざまな社会的ニーズに向けた製品を取りそろえています。あわせて、蓄電池、DCリンク、燃料電池分野の推進や、バイナリー発電システムおよびヒートポンプの販売を通じて省エネルギー化、CO₂の削減などに取り組んでいます。

DX

各種プラントの設備高経年・労働力不足といった社会問題（スマート工場化）に対応するため、設備保全DX専門メディア「マモリワ」をととして、知識や具体的なアクションプランのご提案や各種導入サポートを提供しています。



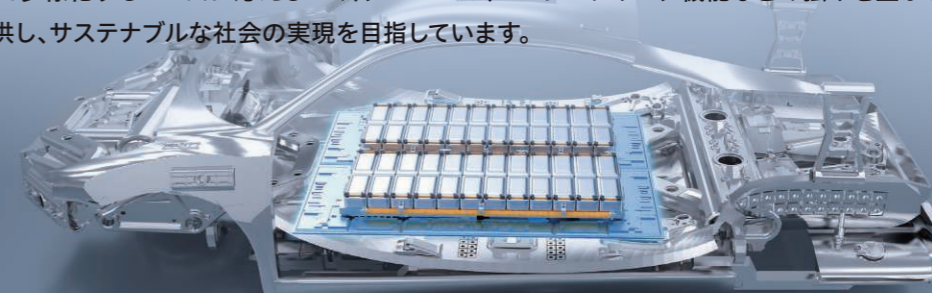
エンジニアリング

エンジニアリング会社への設備供給サービスおよび当社グループ会社（DJ-WAVEエンジニアリングおよび第一メカテック）を中心としたFS・FEED・EPC・アフターサービスなどのエンジニアリングサービスを展開しています。
 (FS: Feasibility Study, FEED: Front End Engineering Design, EPC: Engineering Procurement Construction)

エネルギーソリューションズ事業

次世代エネルギー分野を通じて持続可能な社会を実現

脱炭素社会に向けてエネルギー市場においては大変革が起きており、再生可能エネルギーの普及やモビリティの電動化が急速に進んでいます。リチウムイオン・バッテリー、燃料電池、次世代電池（全固体、半固体、乾式）などの次世代エネルギー分野において多様化するニーズに応えるべく、グローバル、エンジニアリング機能などの強みを生かしてさまざまなソリューションを提供し、持続可能な社会の実現を目指しています。



事業分野



リチウムイオン・バッテリー

次世代エネルギー分野に必要な不可欠なリチウムイオン・バッテリー。その製造における各工程の機器をグローバルに取り扱っています。また、設備メーカーとの共同開発も推進しており、新たな製造プロセスの実現にも貢献していきます。



インクジェット

ペロブスカイト太陽電池の製造に用いるインクジェット印刷機の導入・拡販を推進し、顧客の要望に応じた最適なソリューションを提案しています。さらに、これらの機器は半導体分野にも応用可能であることから、今後の成長が期待される新たな市場への参入も積極的に検討しています。



リサイクル

リチウムイオン・バッテリーに使用されるレアメタルは希少資源であり、リサイクル、リユースの構築が急務です。代替材料の開発のみならず、リサイクルの技術開発にも支援をし、資源循環型のものづくりに取り組んでいきます。



次世代電池

さらなる高性能、安全性が期待される次世代電池の開発研究が進んでいます。プロセスでは湿式から乾式への転換、簡素化も進み、また次世代電池の主役として全固体電池も注目されています。これら次世代電池製造に係る装置や部材を幅広く提供し、最適なソリューションにも注力しています。

産業機械事業

設備のコーディネートによるさらなる最適化を実現

家電や住宅設備、食品包装、医療用機器等の製造分野において、生産性向上のための省力化・省人化に対応する最適なファクトリーオートメーション(FA)やフレキシブル・マニファクチャリング・システム(FMS)、自動組立ライン、周辺機器等のコーディネート提案が事業の主力です。また、海外における現地調達や第三国調達などの対応によりコスト低減にも貢献します。



事業分野



家電・OA

生活家電、AV家電、情報家電(IT・VR)、通信家電、OA機器などを製造する各種成形機、樹脂加工機、検査・画像システムなどを取り扱っています。付帯設備や周辺機器とのシステムアップを強みとし、幅広い製造工程における設備提案をグローバルに展開しています。



食品包装

バイオ素材への転換や耐熱強化に向けた製品開発が進み、従来の各種成形機、自動組立装置においても付加価値および機能性の向上がテーマとなっています。製品製造における安全性や生産性を担保しつつ、国内外からの設備調達によってニーズに応えます。



医療機器

医療機器製造における加工設備を取り扱っています。近年はディスポーザブル医療機器(注射器、透析器、カテーテルなど)に代表されるチューブとプラスチック部品の組付けを得意としています。また、製造工程の自動化や高効率化の提案にも注力しています。



住宅設備

キッチン、バス、トイレ、洗面化粧台などの各製造工程で必要となる加工、組付、加飾などの各種設備を取り扱っています。製品の高品質化に伴い製造工程が複雑化する中で、国内外からの設備調達を含め、ニーズに合った幅広い提案を行っています。



物流資材

工場内における物流の最適化を実現するための各種設備を取り扱っています。無人化、省人化につながる自動倉庫システムや無人搬送車(AGV)、コンテナ・パレットなどの資材製造設備や、効率性を高めるシステム提案に注力しています。



アグリ(イチゴ培養苗)

「第一実業ベリーズファーム」(埼玉県入間郡毛呂山町)において、最先端の育苗技術によるクリーンなイチゴ苗を生産しています。育苗の分業化を通じていちご生産者の負担軽減につなげ、日本の農業分野への貢献を目指します。

主な
取扱品

FAシステム 射出成形機 押出成形機 圧空・真空成形機 鋳造機 金属加工機
セラミック加工機 自動組立設備 マテハン・ロボットシステム 塗装・表面加飾設備
樹脂・砂型用3Dプリンター 充填・包装設備

エレクトロニクス事業

最先端技術と経験でものづくりプロセスの改革をもたらすソリューション

表面実装(SMT)、マイクロエレクトロニクスなどの分野において、電子部品実装システムや電子デバイスシステム、自動化設備を中心に、最先端技術と経験でものづくりプロセスの改革をもたらすソリューションを提供しています。技術リソースの拡充やプロセス開発を通じて、次世代エレクトロニクスにおけるイノベーションの創出に取り組んでいます。



事業分野



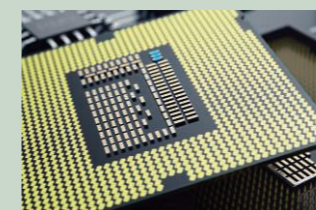
表面実装(SMT)

電子部品実装業界で40年以上の実績を有し、高精度かつ高性能なSMTシステムを取り扱っています。また、SMT後工程設備や組立装置、検査装置などの周辺装置、これらを一元で管理するシステムなどラインナップを充実させ、お客様工場の生産性向上、品質改善に貢献し、「Autonomous Factory」による省人化・無人化を実現していきます。



物流自動化ソリューション「LOGITO」(ロジト)

工場や倉庫内における物流工程の自動化を図るソリューションサービス「LOGITO」(ロジト)を提供しています。生産工場内の物流を最適化する動きが加速する中で、エレクトロニクス分野における自動入出庫機能を備えた材料倉庫やAGV・AMR(無人搬送車)のほか、それらを連携させる各種設備、システムなどを取り扱っています。省人・省力化に向けたソリューション提案により、エレクトロニクス業界、およびその他さまざまな業界の生産工場、物流倉庫におけるコスト低減に貢献します。



半導体・電子部品

半導体・電子部品の前工程および後工程、さらには先端パッケージ分野において、業界トップクラスの実績を持つ生産設備・加工設備をはじめ、クリーンルーム工場内の搬送・保管装置、さらにそれらを制御する統合管理システムなどを取り扱っています。設備と周辺機器を組み合わせたシステムコーディネートが強みとし、工程の複雑化・自動化・スマート化といったニーズに柔軟に対応していきます。



組立ライン・自動機・専用機

生産現場の効率化と品質向上を達成すべく、お客様のニーズを徹底的にヒアリングし、最適な自動化提案を行います。これまで培った豊富な経験と技術力を活かしてあらゆる業界での課題解決をサポートし、次世代のものづくりを支えるパートナーとして世界に貢献していきます。

自動車事業

人と技術を繋ぎ革新的なモノ作りの提案を通じて車社会の進化へ貢献する！

自動車の車両組立、内外装およびパワートレイン系部品、車載デバイスのほか、これらを構成するあらゆる部品製造における樹脂・金属成形および加工、表面処理、組立、検査など、さまざまな工程に適合する各種設備のインテグレート提案に注力しています。また、自動車産業が自動運転や電動化に向けて急速な変化を見せる中、先進的な生産設備で次世代自動車の普及拡大を支えています。



事業分野



車両・内外装領域

車の軽量化をキーワードにバンパーやインパネおよびランプなどの内外装樹脂部品の成形・加工・塗装を中心とした部品領域と車両の組立装置・コンベア・検査装置などの完成車領域を中心に事業を展開しています。近年では環境に配慮した樹脂のリサイクル成形や水を使用しない塗装ドライブースなどカーボンニュートラルを意識した装置や車両塗装および完成車の建付けを自動検査するデジタルイノベーションを活用した装置の提案を強化しています。



パワートレイン領域

車の電動化をキーワードに駆動モータ、インバータ、電池モジュール向けの各種製造装置を中心に事業展開しています。各種専用組立ラインの他にレーザ接合設備、ワニス・粉体塗布、テストベンチに関する多数の実績を有しており、社内のエンジニアを活用し工程の開発から海外における量産設備導入までトータルにサポートしています。近年ではeAxleのケーシングや骨格部品として注目されている超大型と呼ばれるダイカスト領域においても新たな工法・商材の提案活動を強化しています。



カーエレクトロニクス・ADAS領域

車の安全・自動運転をキーワードに自動車の安全運転を支えるADAS領域に向けて各種専用組立ラインや表面処理設備、検査・試験設備などを中心に事業展開しています。統合ECUやパワー半導体などのカーエレクトロニクス製品およびステアリングやブレーキなどの機構部品にとどまらず、近年では車載カメラ・センサー等のセンシングデバイス製品に注力しており、社内エンジニアによるライン構築支援や新たな装置開発を進めることでお客様の生産性向上に貢献しています。

ヘルスケア事業

世界中の企業における生産性と品質を飛躍的に高めることにより、人々の健康に貢献すること

医薬品・食品・化粧品分野における工場施設エンジニアリングから各種外観検査システム、各種自動包装ラインの提供まで行っています。またグループ会社の第一実業ビスウィルや装置メーカー、お取引先とともに次世代のシステム開発にも積極的に取り組み、市場投入を図っています。

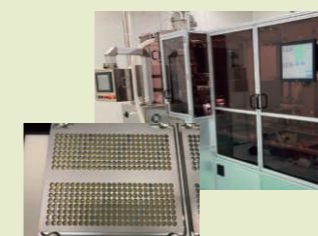


事業分野



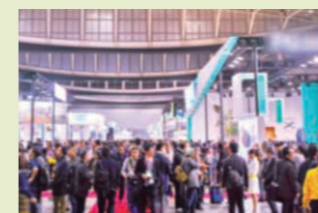
エンジニアリング

ヘルスケア産業特有のレギュレーション（GMP、PIC/S、HACCPなど）に対応した最新の生産システムを提供します。工場新設のプロジェクトから既存ラインのリニューアルまで幅広く対応します。お客様のニーズに対応したハードウェアおよびソフトウェアを組み合わせ、最適なエンジニアリングを実現します。



技術・装置開発

お客様のニーズを満たし、「あるべき姿」を実現するためには、既存の技術だけでは対応しきれない場合があり、その際には、新しい技術の開発に取り組みます。NIRを用いた全数含量測定システム、外観検査と印刷工程を一体化させた錠剤印刷検査システム、これまで困難とされてきた包装資材投入の自動化システムなど、最新技術を活用したソリューションを提供しています。



マーケティング

国内外のお客様と築いた強固な関係を基盤に、世界中の技術や製品のトレンドを常に収集・分析しています。お客様のご要望に加え、QCDとのバランスを考慮した、一歩先を見据えた提案を行い、お客様の競争力向上に貢献します。



コンサルティング

アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジアといった当社のグローバルネットワークを活用し、装置販売や輸出入、アフターサービスに加え、お客様の現地におけるネットワーキングを支援し、お客様の海外事業をトータルでサポートいたします。

✈️ 航空・インフラ事業

交通インフラを最先端のノウハウで支える

航空・空港分野においては地上支援機材や空港施設用設備などを主にエアラインやグランドハンドリング会社、空港会社に提供しています。また、防災分野においては消防関連の特殊車両を国や地方自治体に提供しています。欧米から輸入する主力商材は使用環境やニーズに応じてカスタマイズを行うほか、専門のサービスグループにより充実したアフターサービスを実施し、社会インフラを支えています。



事業分野



航空

安全で快適な空の旅は、地上支援機材によって実現されています。牽引車（トラクター）、航空機用防除氷車（デアイサー）、コンテナローダー、パッセンジャーステップ車など、海外の先進技術やアイデアを備えたハイブリッド車や、電動化機材を取り扱っています。これらを航空会社やグランドハンドリング会社、空港会社向けに単品のみならずパッケージでも提供しており、空港オペレーションを支えています。



空港

航空機の安全性および定時運航には空港施設の維持管理が欠かせない要件となっています。国内空港会社向けの空港用化学消防車や空港用除雪車、摩擦係数測定車、医療機器搬送車、グリコール回収車、爆発物自動検査装置のほか、海外の先進技術が搭載されたハイブリッド車や各種電動化機材などを取り扱っており、より効率的で質の高い空港維持管理のニーズに応えています。また、滑走路の摩擦係数測定なども行っています。



防災・防衛

国内における大規模災害への対策が進められる中で、インフラの早期復旧に向けた整備が喫緊の課題となっています。防衛省を含む官公庁や地方自治向けに特殊救護車（スーパーアンビュランス）や指揮統制車（コマンドカー）、拠点機能形成車、照明車などの防災・防衛関連機器・機材を取り扱っており、各地域における災害対策への取り組みをサポートしています。



CS（保守点検・修理・部品）

各種機材・機器納入時の据付、組立、操作・技術訓練のみならず、それらの機材・機器が退役するまでをトータルでサポートしています。ECサイトの展開と豊富な部品在庫により機材・機器における突然のトラブルにも迅速に対応しています。また、トラブルを未然に防ぐ点検・整備を実施しているほか、部品の改善提案などにより航空機の安定運航を下支えしています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

会社概要 Corporate Outline

商号	第一実業株式会社	Trade Name	DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.
資本金	5,105百万円 (発行済株式総数32,759,200株)	Capitalization	Yen 5,105,000,000 (32,759,200 Shares Outstanding)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場	Stock Exchange Listings	The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange
設立年月日	1948年8月12日	Establishment Date	August 12, 1948
主要事業	プラントおよび機械器具の輸出入・国内販売	Major Fields of Business	As a trading company specialized in machinery, DJK provides services in marketing, export and import of plant and equipment.
連結従業員数	1,559名 (2025年9月30日現在)	Number of Employees (Consolidated)	1,559 (as of September 30, 2025)

役員 Corporate Directors (2026年4月1日現在 / As of April 1, 2026)

代表取締役 会長執行役員	宇野 一郎	Chairman & CEO*	Ichiro Uno
代表取締役 社長執行役員	船渡 雄司	President & COO*	Yuji Funawatari
取締役 常務執行役員	府川 治	Managing Executive Officer & CFO*	Osamu Fukawa
取締役 常務執行役員	上野 雅敏	Managing Executive Officer & CSO*	Masatoshi Ueno
取締役 常務執行役員	大槻 信二	Managing Executive Officer & CSO*	Shinji Otsuki
取締役 常務執行役員	岡田 尚一郎	Managing Executive Officer & CSO*	Shoichiro Okada
取締役 (社外取締役)	坂本 嘉和	Member of the Board (Independent)	Yoshikazu Sakamoto
取締役 (社外取締役)	山田 奈美香	Member of the Board (Independent)	Namika Yamada
取締役 (社外取締役)	中山 和夫	Member of the Board (Independent)	Kazuo Nakayama
取締役 監査等委員	豊泉 隆宏	Audit & Supervisory Committee*	Takahiro Toyozumi
取締役 監査等委員 (社外取締役)	小山 充義	Audit & Supervisory Committee (Independent)*	Mitsuyoshi Koyama
取締役 監査等委員 (社外取締役)	小野 亜希子	Audit & Supervisory Committee (Independent)*	Akiko Ono
常務執行役員	青山 重博	Managing Executive Officer	Shigehiro Aoyama
常務執行役員	小玉 大二郎	Managing Executive Officer	Daijiro Kodama
上席執行役員	西井 啓介	Senior Executive Officer	Keisuke Nishii

(*Member of the Board)

ネットワーク Network

海外 (Overseas)

■ DAIICHI JITSUGYO (AMERICA), INC.

- ・Head Office (Chicago)
- ・ヒューストン事務所/Houston Office
- ・ノックスビル事務所/Knoxville Office
- ・ケンタッキー事務所/Kentucky Office
- ・オースティン事務所/Austin Office

■ DJK GLOBAL MEXICO, S.A. DE C.V.

- ・Head Office (Queretaro)
- ・モンテレイ事務所/Monterrey Office
- ・レオン事務所/Leon Office

■ DAIICHI JITSUGYO DO BRASIL COMERCIO DE MAQUINAS LTDA.

■ DJK CANADA, INC.

■ DJK EUROPE GMBH

- ・Head Office (Frankfurt)
- ・プラハ支店/Prague Branch
- ・ブダペスト支店/Budapest Branch
- ・ソフィア支店/Sofia Branch

■ 上海一実貿易有限公司/SHANGHAI YISHI TRADING CO., LTD.

- ・Head Office (Shanghai)
- ・天津事務所/Tianjin Office
- ・蘇州事務所/Suzhou Office
- ・武漢事務所/Wuhan Office

■ 第一実業(香港)有限公司/DAIICHI JITSUGYO (HONG KONG) LIMITED

■ 第一実業(広州)貿易有限公司/DAIICHI JITSUGYO (GUANGZHOU) TRADING CO., LTD.

- ・Head Office (Guangzhou)
- ・深圳分公司/Shenzhen Branch

■ 一實股份有限公司/DJK (TAIWAN) CORP.

■ DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE. LTD.

■ DAIICHI JITSUGYO (THAILAND) CO., LTD.

- ・DJKテクニカルセンター (タイ)/DJK Technical Center (Thailand)

■ DAIICHI PROJECT SERVICE CO., LTD.

■ DAI-ICHI JITSUGYO (MALAYSIA) SDN. BHD.

- ・Head Office (Kuala Lumpur)
- ・ジョホールバル事務所/Johor Bahru Office
- ・ペナン事務所/Penang Office

■ DAIICHI JITSUGYO (PHILIPPINES), INC.

- ・DJKテクニカルセンター(フィリピン)/DJK Technical Center (Philippines)

■ DJK FACTORY SOLUTIONS (PHILIPPINES), INC.

■ PT. DJK INDONESIA

■ DAIICHI JITSUGYO (VIETNAM) CO., LTD.

- ・Head Office (Hanoi)
- ・ホーチミン支店/Ho Chi Minh Branch
- ・DJKテクニカルセンター(ベトナム)/DJK Technical Center (Vietnam)

■ DAIICHI JITSUGYO INDIA PVT. LTD.

- ・Head Office (New Delhi)
- ・パンガロール支店/Bengaluru Branch
- ・アーメダバード支店/Ahmedabad Branch
- ・テクニカルセンター/Technical Centre

■ DJK ENGINEERING INDIA PVT. LTD.

■ ソウル支店/Seoul Branch

- ・ソウルテクニカルセンター/Seoul Technical Center

国内 (Domestic)

■ 第一実業株式会社/DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

- ・本社/Head Office (Tokyo)
- ・大阪支社/Osaka Branch
- ・名古屋支社/Nagoya Branch
- ・東北支店/Tohoku Branch
- ・中四国支店/Chu Shikoku Branch
- ・九州支店/Kyushu Branch
- ・富山出張所/Toyama Office

■ 株式会社第一メカテック/DAIICHI MECHA-TECH CORPORATION

- ・D.S.T.センター/D.S.T. Center (Demonstration, Service & Training Center)

■ 第一実業ビスウィル株式会社/DAIICHI JITSUGYO VISWILL CO., LTD.

■ 株式会社DJ-WAVEエンジニアリング/DJ-WAVE ENGINEERING CO., LTD.

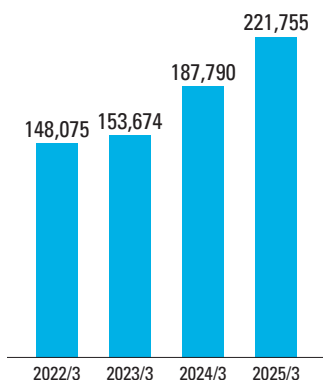
■ 第一スルザー株式会社/SULZER DAIICHI K.K.

■ 株式会社浅野研究所/ASANO LABORATORIES CO., LTD.

連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights

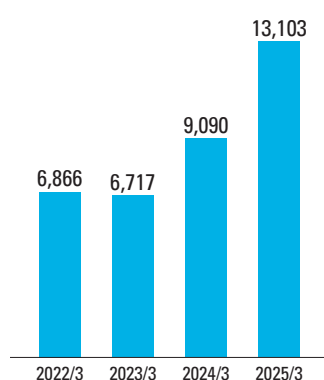
売上高

Net Sales (百万円/Millions of Yen)



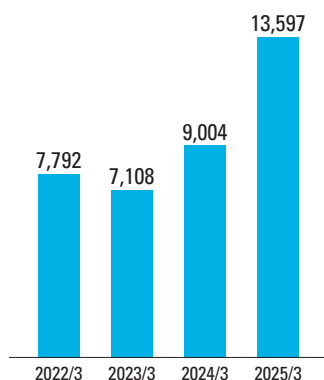
営業利益

Operating Income (百万円/Millions of Yen)



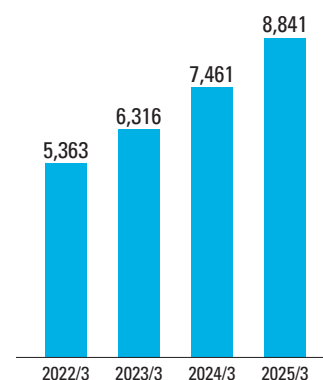
経常利益

Ordinary Income (百万円/Millions of Yen)



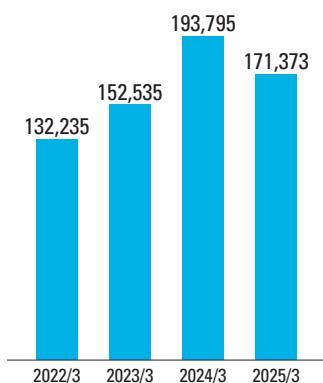
親会社株主に帰属する当期純利益

Profit Attributable to Owners of Parent (百万円/Millions of Yen)



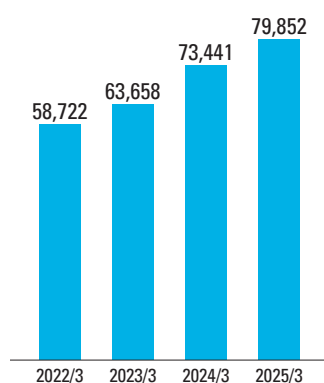
総資産

Total Assets (百万円/Millions of Yen)



純資産

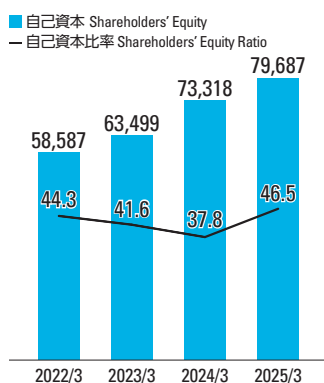
Net Assets (百万円/Millions of Yen)



自己資本

Shareholders' Equity (百万円/Millions of Yen)

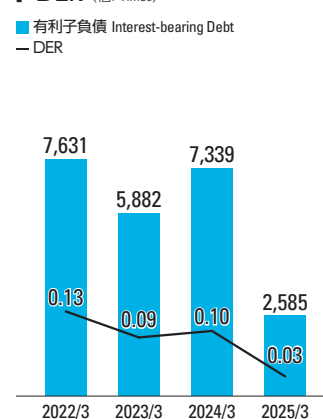
自己資本比率 Shareholders' Equity Ratio (%)



有利子負債

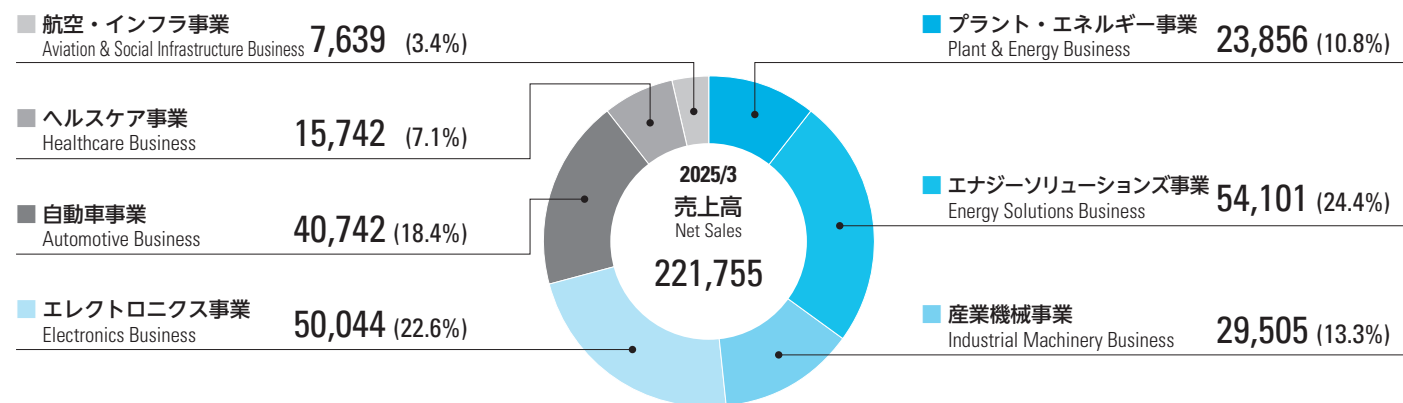
Interest-bearing Debt (百万円/Millions of Yen)

DER (倍/Times)



セグメント別売上高*

Sales Breakdown by Segment (百万円/Millions of Yen)



* 売上高を事業セグメント別に分類したグラフです。
Pie chart indicates net sales by segment.